



偉人の言葉

偶然を見逃さないことも、科学研究では大切です

本庶 佑(ノーベル生理学・医学賞受賞)

「はかってなんぼ～化学研究計画～」

国立大学法人琉球大学教育 准教授 福本 晃造 氏

球陽SSH講座
化学分野

科学の大切さや科学技術の
果たす役割意義を感じてもらいたい。

10月12日(金)に球陽高校視聴覚室で球陽SSH講座の化学分野が行われました！講師の方は、国立大学法人琉球大学教育学部・准教授の福本晃造氏です！今回は、「はかってなんぼ～化学研究計画～」という演題で御講演して頂きました。参加した生徒約78名でした。

講座は、まず、福本氏がスライドを使って自己紹介から始まりました。福本氏は大阪市の大正区のご出身です。化学に進んだきっかけはきっかけは、小学校の頃、酸素と炭素が化合すると二酸化炭素ができるという反応が、化学反応式で $C + O_2 \rightarrow CO_2$ と表記されることを教わったときに、「わかりやすく、かっこいい！」と思われ、科学者になろうと決めたとそうです。

原子の性格(性質)を知るには、結合を詳しく調べることで。このことを、1人の人間の性格を知ることに例え、他の人との関係(誰とつきあいがあるか？何人くらいの人とつきあいがあるか？どんな関係か？等)を調べると、その人の性格が分かると説明して下さいました。結合や原子の性格(性質)を知ると、新しい反応や新しい物質を作れます。これは、学問として面白いと思われたそうです。新しい薬品や物質を開発することも大変大切です。でも、新しい物質を作るには、結合を切る技術と、つなぐ技術の開発も大変重要で、この技術開発は基礎研究と呼ばれ、この基礎研究開発は大変儲かるということでした。研究していく上で、儲かる事を意識することは重要とお話されており、台湾式やり方で、1日10個金儲けになるネタをメモする方法も教えて頂きました。福本氏は、とにかくどんなアイデアでも、メモし、机にしまってしばらく忘れる。後日メモを見て検討するという方法を教えて頂きました。福本氏ご専門は、有機金属化学といい、有機化学と無機化学の分野を合わせた分野を研究されています。民間企業で、上水道の殺菌装置の開発・製造の研究で、光触媒技術というのを開発され、除菌浄水器が造られました。

最後に、研究テーマを考える時は、何を、どうやってはか
かを考えよう！と教えていただきました。研究したいものを間違
違った方法ではかると意味がありません。これができれば、
何でも研究できるはずですとお話されていました。



次回球陽SSH講座のお知らせ

地学分野になります！

(^^)「場所が変更になりました」

日時：平成30年10月17日(水) 16:00～(120分程度)

場所：視聴覚室

準備する物：筆記用具